説明書番号　MN-1684
改-1

『アルプラクラス』・『アリッツ』
アルミ電動シャッター本体　取付説明書

⚠ 安全にお使いいただくために

●本説明書では、お使いになる人や他の人の財産への損害を未然に防ぐため、次のような絵表示をしています。

お願い　「必ず行っていただくこと」を示しています。

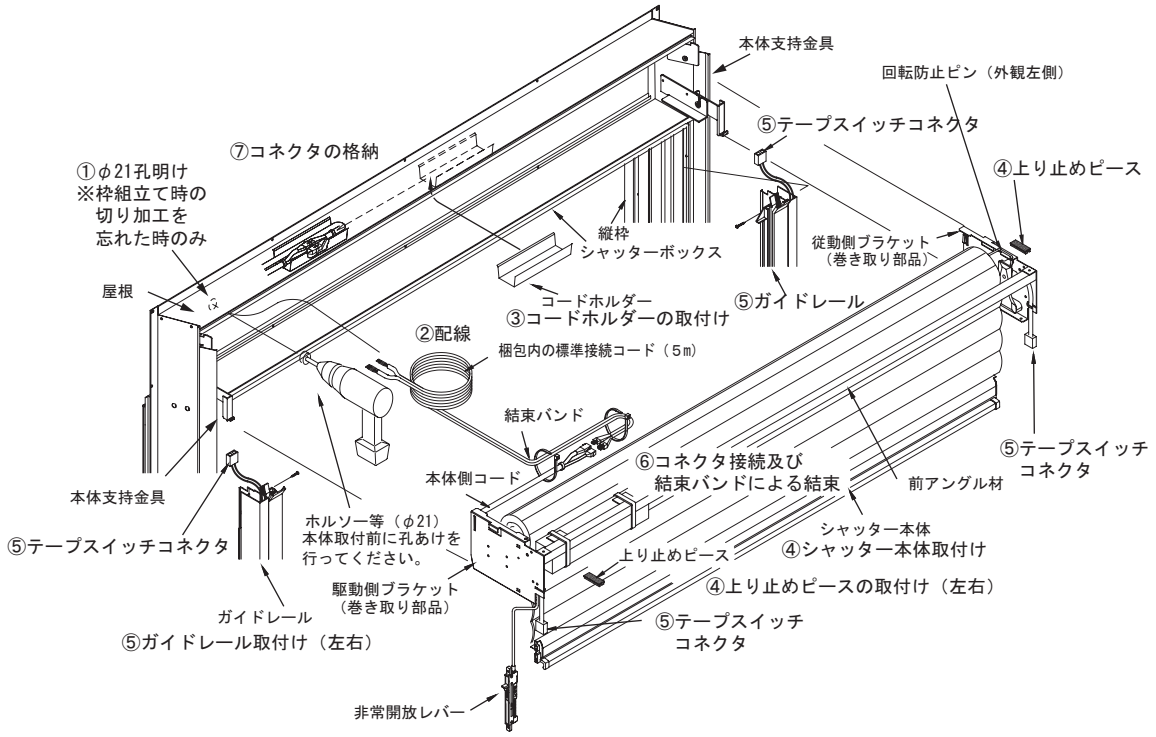
●本製品の明細は以下の通りです。

シャッター本体ｘ1、操作スイッチｘ1、化粧プレートｘ1、標準接続コード（電源線5mｘ1、信号線5mｘ1）、取付部品セット（コードホルダー　ｘ1、上り止めピースｘ2個、結束バンドｘ2）、電気工事説明書ｘ1、取扱説明書ｘ1、シャッター本体取付説明書ｘ1

●その他の梱包

ガイドレール、ボックスカバー、枠、障子、網戸、タイマーコントローラー（別売品）、赤外線リモコン送信機（別売品）

取付け手順概要（各手順の詳細説明は別途）



①枠組立て時の仕上材の切り加工を忘れた時のみ、ホルソーなどで孔あけ（φ21）
②接続コードの配線（接続コードは電源線と信号線の２本コードを配線します。）
③コードホルダーの取付け
④アルミ電動シャッター本体の取付け及び上り止めピースの取付け
⑤ガイドレールの取付け及びテープスイッチコネクタの接続
⑥接続コードと本体側コードのコネクタ接続及び結束
⑦コネクタ部分のコードホルダーへの格納

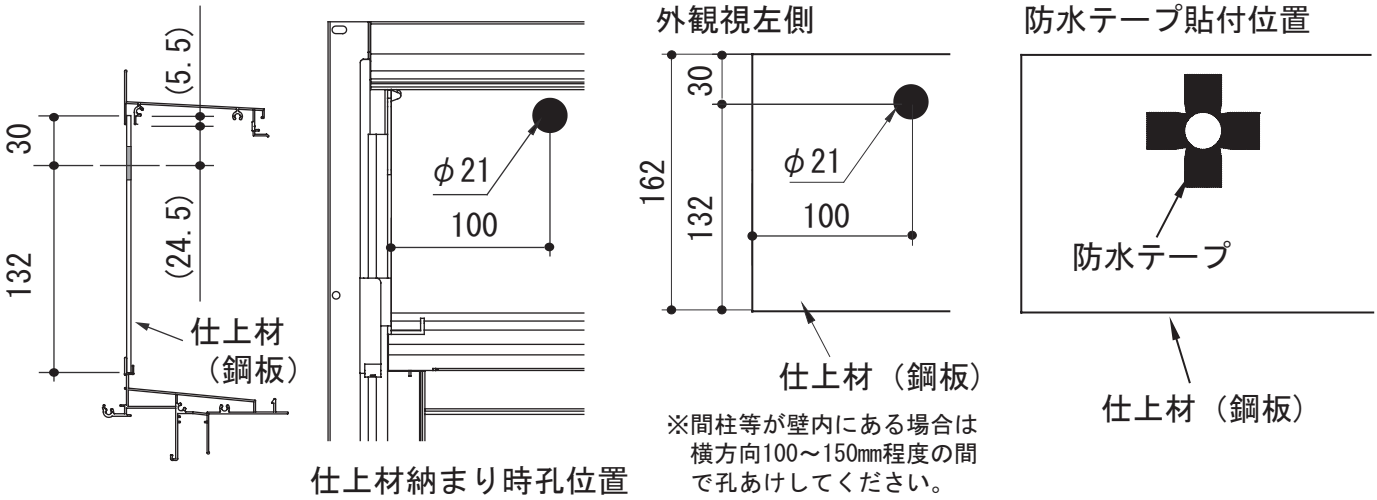
お願い 各手順の詳細説明を必ずご確認の上作業してください。

お願い 接続コードを延長する場合は、必ず電気工事説明書の内容に従って行ってください。

手順１：シャッターボックス内の仕上材（鋼板）への孔あけ

枠組立て時の仕上材（鋼板）の切り加工を忘れた時のみ、下図に示す位置φ21の孔をあけてください。

孔をあけた後、右下図に示すように接続コードの断線を防止する為、枠梱包に同梱されている防水テープ等にて孔の周りを覆うように保護してください。

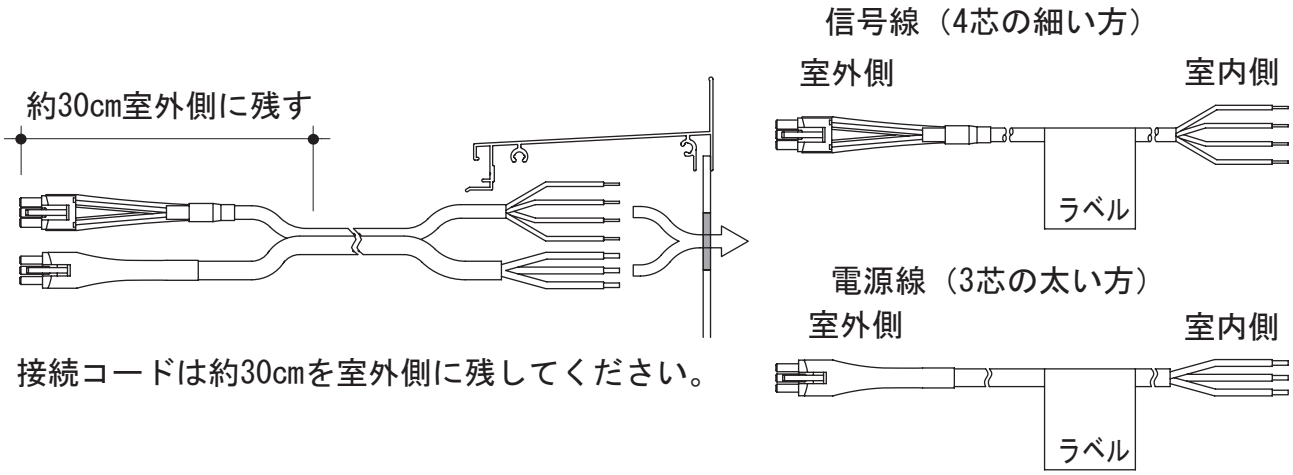


仕上材納まり時孔位置

お願い 孔あけはホルソー等を使用してきれいにあけてください。
きれいな丸円があかない工具での孔あけはお止めください。

手順２：接続コードの配線（電源線と信号線の配線）

手順１であけた孔に、接続コードを室外側から室内側に向かって図示の方向で孔に挿入していきます。

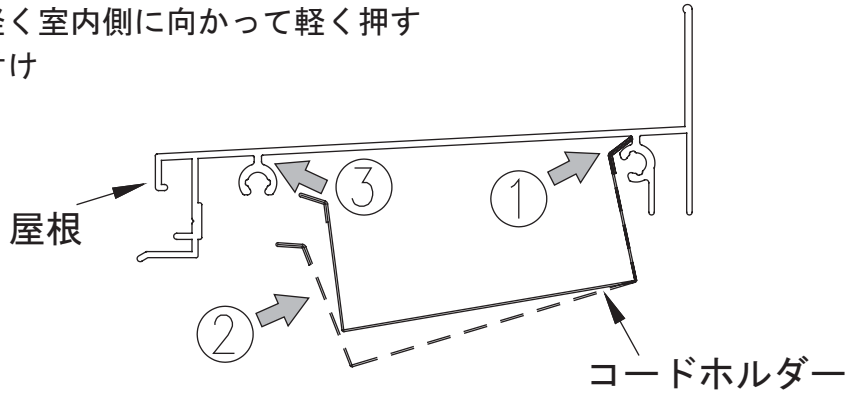


接続コードは約30cmを室外側に残してください。

手順３：コードホルダーの取付け

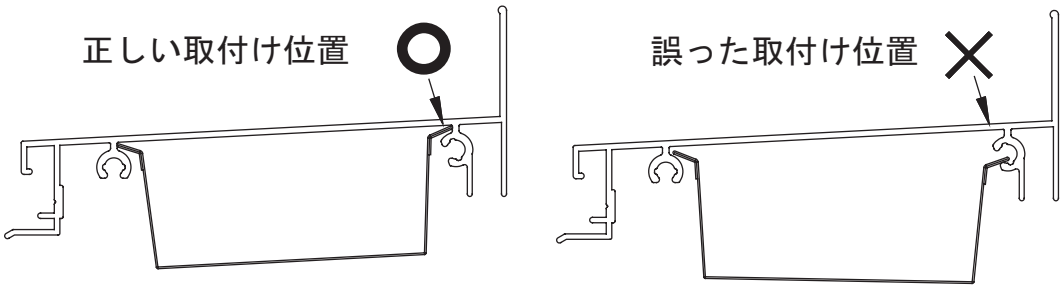
※コードホルダーは手順７の項で、接続コードのコネクタ部分を
格納する部品です。

①奥のつめを屋根にセット
②コードホルダーを指で軽く室内側に向かって軽く押す
③手前のつめを屋根に取付け

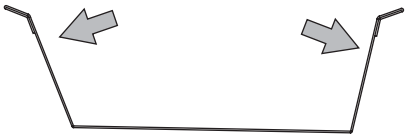


お願い　コードホルダーの奥のつめは正しい位置に取付けして
ください。（下図）

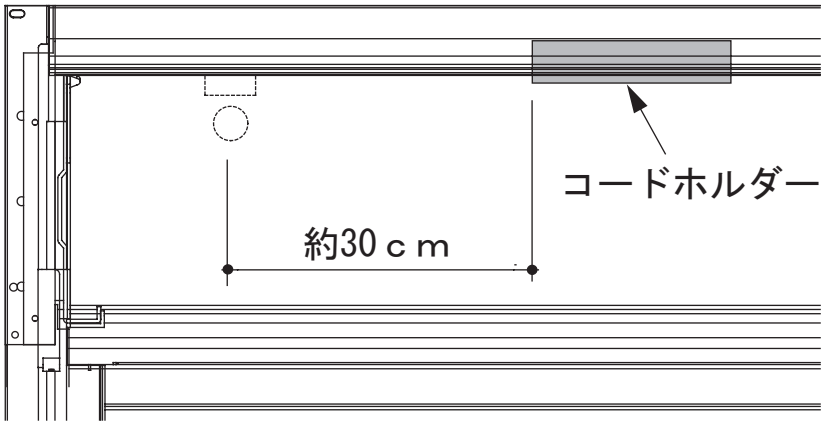
誤った位置に取り付けられますと、コードホルダーが脱落し、
不具合の原因となります。



嵌め合わせが弱い時は、コードホルダーを
手で広げてください。



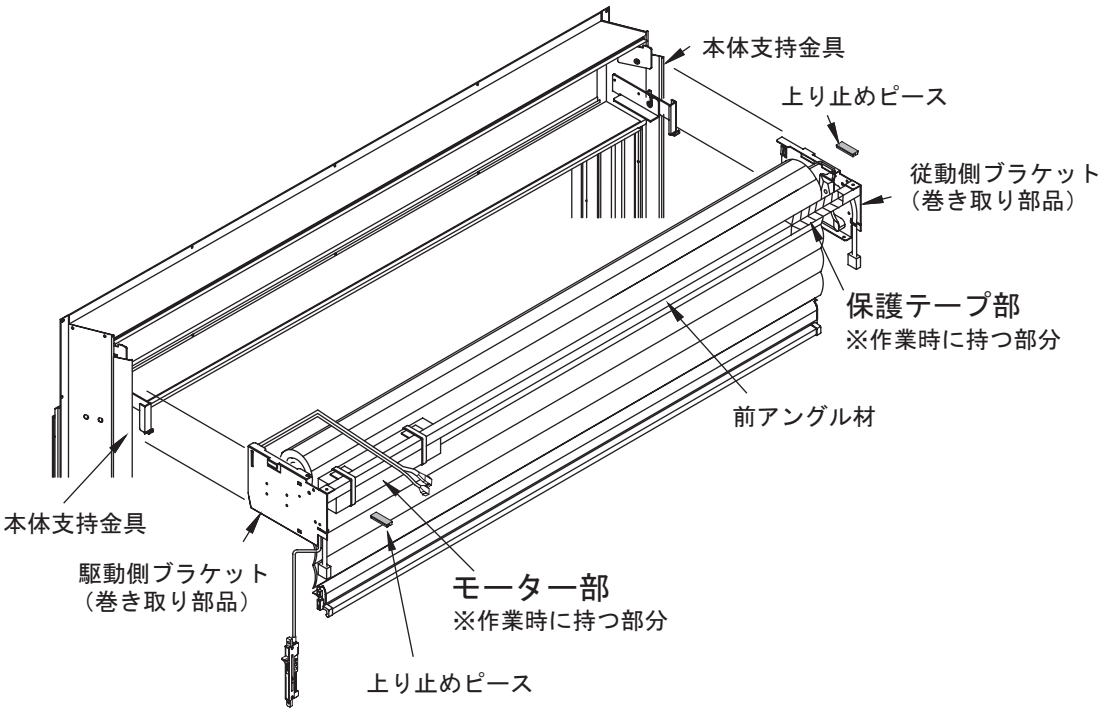
取付け後、コードホルダー
をスライドさせて、接続コ
ードの通し孔から約30cmの
ところに取付けしておくと、
後の作業がしやすいです。



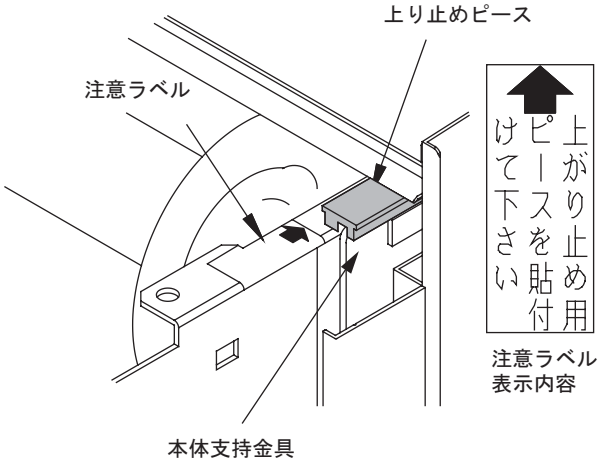
手順４：アルミ電動シャッター本体の取付け及び上り止めピースの取付け

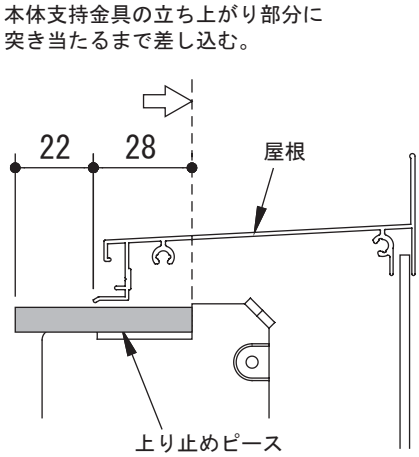
お願い　開梱作業及び取付け作業は、必ず2人以上で行ってください。

・シャッター本体の前アングル材の両端部を持ち、開梱作業及び取付け作業を行います。
・前アングル材は必ず保護テープ部とモーター部のみを持ってください。
　（中央部側を持つとアングル材が変形します）
・下図の様に左・右のブラケットを、それぞれ左・右の本体支持金具へ差込みます。

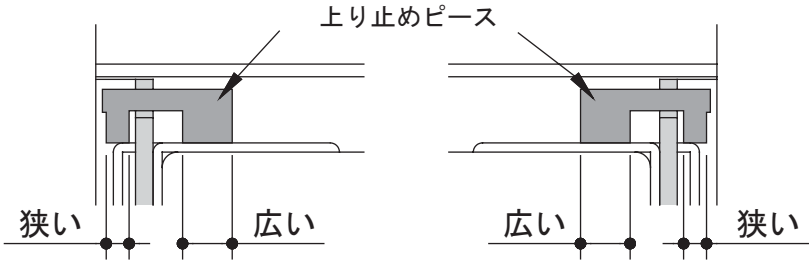


本体取付け後、上り止めピースを左右巻き取り部品と屋根との隙間に取付けます。
上り止めピースの離型紙をはがし、溝が本体支持金具をまたぐようにして、奥に突き当たるまで差し込みます。
（目安として屋根の先端部から上り止めピースの先端まで22㎜）





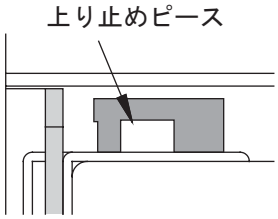
○ 上り止めピースの溝が本体支持金具をまたいでいる。



（外観左）　　（外観右）

向きに注意してください

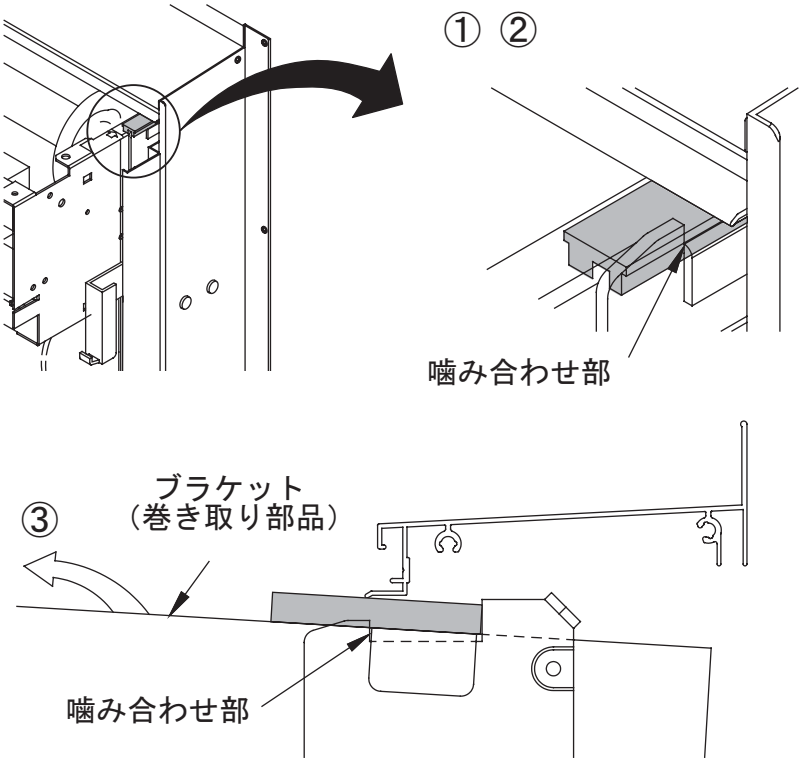
✕ 上り止めピースの溝が本体支持金具をまたいでいない。



※上り止めピースを取付けないと、シャッター本体が脱落する可能性がありますので、必ず取付けてください。

お願い　本体取付け後に以下の確認を必ず行ってください。（下図）

①本体支持金具の上端切り欠き部とブラケットの金具上端突起部が噛み合っていること。
②上り止めピースが本体支持金具をまたいで、奥まで確実に差し込まれていること。
③ブラケット（巻取り部品）の前方部分を持ってシャッター本体を持ち上げて外そうとしても、本体支持金具との噛み合わせ部分を乗り越えられずに外せないこと。

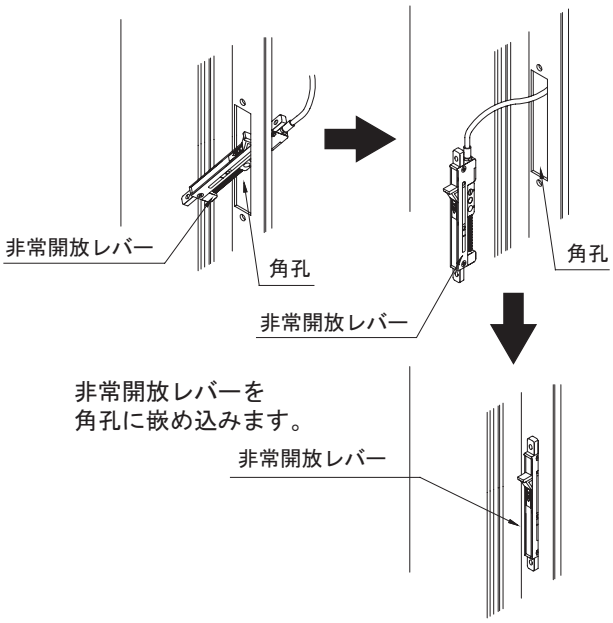


手順５：ガイドレールの取付け及び テープスイッチコネクタの接続

※ガイドレールは別売り、別梱包です。

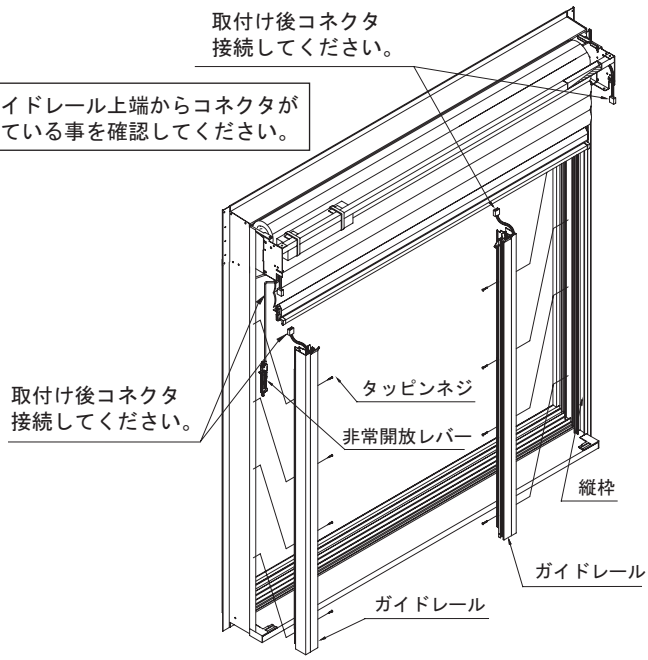
1 非常開放レバーの嵌め込み

角孔から非常開放レバーを通します。



取付概要

左右のガイドレールを同梱のネジにて
縦枠に固定します。



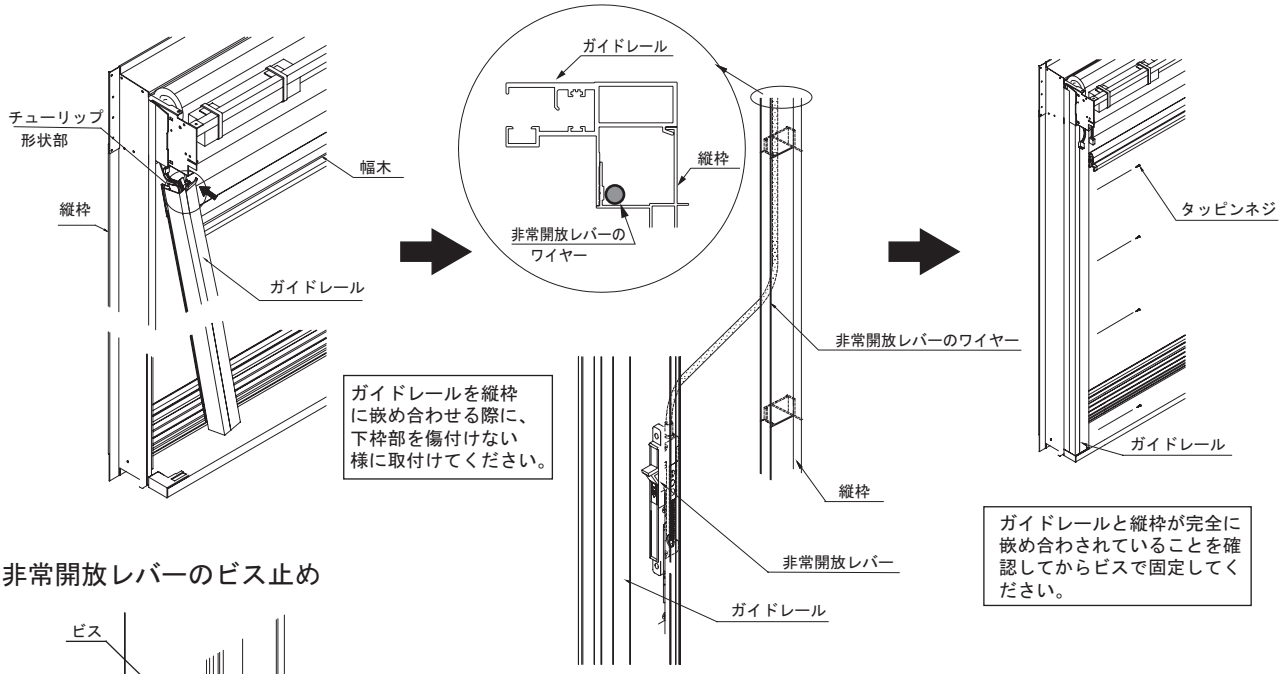
2 ガイドレール取付方法

下図①、②、③の順にガイドレールを立て込みます。

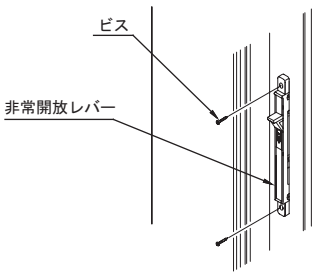
①ガイドレール上部（チューリップ形状部）
を幅木に合わせて差し込みます。

②非常開放レバーのワイヤーを縦枠の
図示の部分に添わせてください。

③ガイドレールを縦枠に嵌め
合わせ、ビスで固定します。



3 非常開放レバーのビス止め



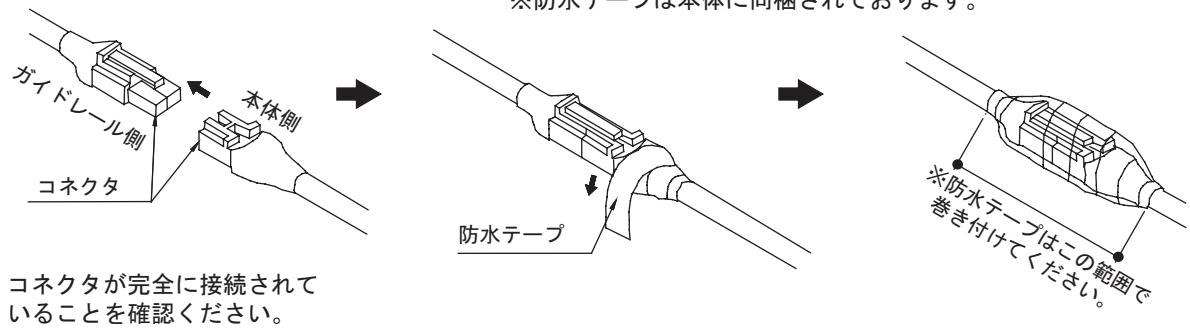
非常開放レバーをビスで
固定してください。

4 テープスイッチコネクタの接続

下図のようにコネクタを接続し、
付属の防水テープをコネクタに
巻いてください。

※防水テープはコネクタの本体側から巻いてください。
　逆から巻くとコネクタの接続部が外れやすくなります。

※防水テープを巻く時は、テープを張りながら巻いてください。
※防水テープは本体に同梱されております。

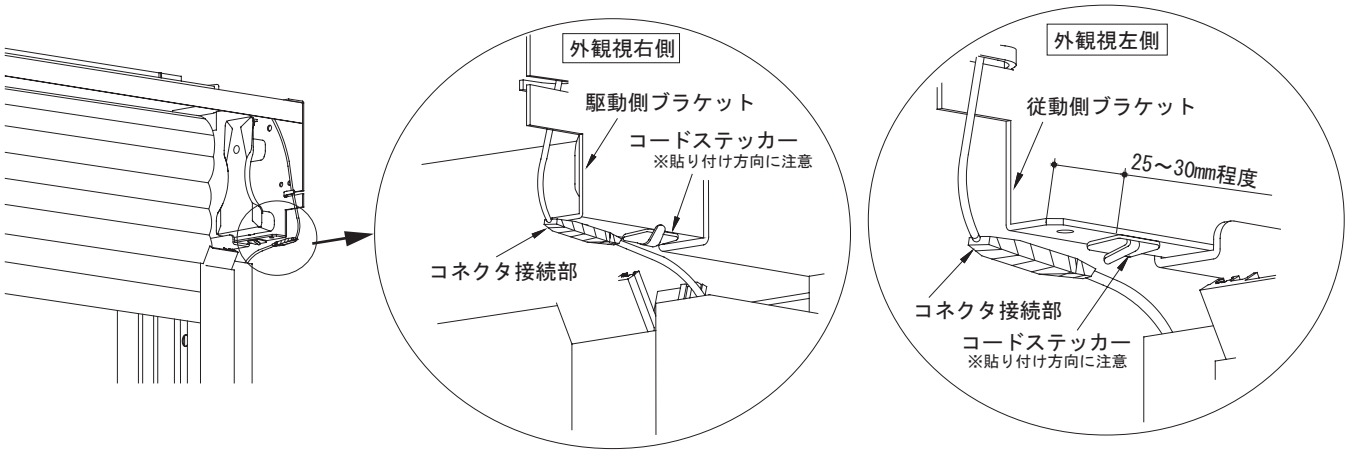


コネクタが完全に接続されて
いることを確認ください。

お願い　漏電やテープスイッチの誤作動等を防ぐため、防水テープは確実に巻いてください。

5 付属のコードステッカーを左・右のブラケットに貼り付けます。

※コードステッカーはガイドレールに同梱されております。

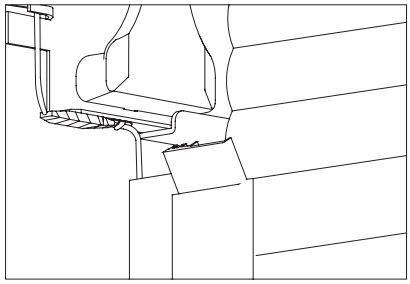


上図の様にブラケットの端から25～30㎜程度のところに付属のコードステッカーを貼り付けてください。
コードステッカーを貼り付ける際は、折り曲げ部を図の方向に向けてください。（折り曲げ部が内側）

6 コードステッカーでガイドレール側配線を固定します。

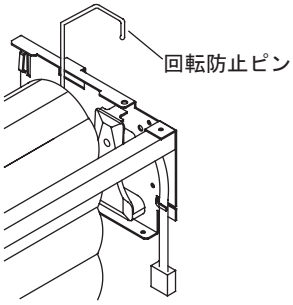
コードステッカーにコネクタ接続配線コードを挟み、
固定してください。

コードステッカーから配線コードが抜けないように
しっかりと固定してください。



お願い　コネクタ接続後、配線コードを固定しないと断線
する恐れがあります。
必ずしっかりと固定してください。

7 ガイドレール取り付け終了後、回転防止ピンを抜いてください。



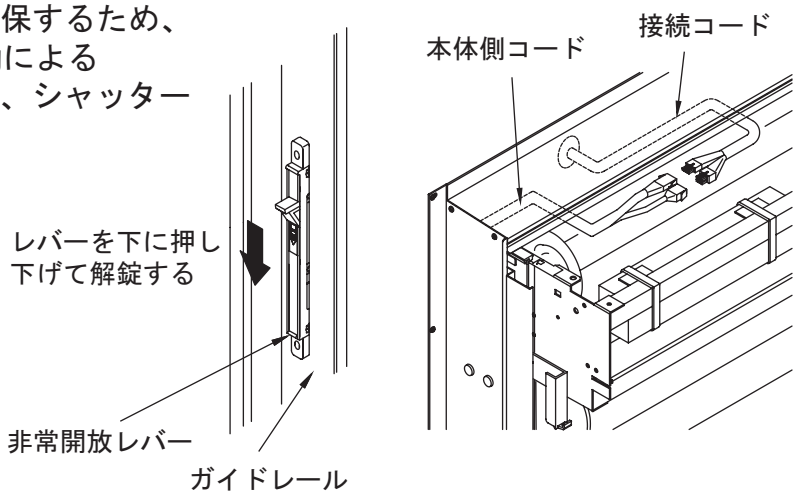
お願い　回転防止ピンはガイドレール取付け
完了後に抜いてください。

手順６：接続コードと本体側のコネクタ接続及び結束バンドによる結束

コネクタ接続作業のスペースを確保するため、非常開放レバーを押し下げ、手動によるシャッター開閉ができる状態にし、シャッターを下降させてください。

本体側コードと接続コードのコネクタを接続してください。

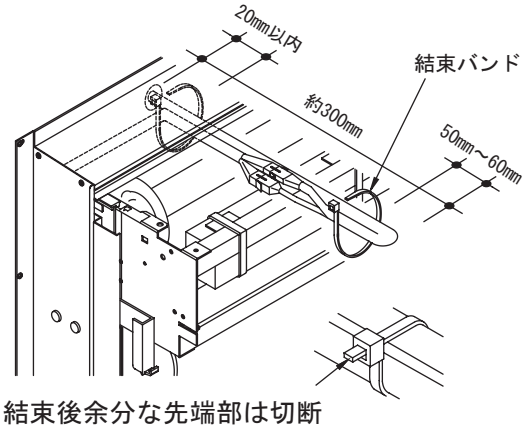
※もう一度非常開放レバーを押し下げるとモーターロックがかかり、電動で使用できる状態になります。



お願い コネクタがしっかりと噛み合うように接続してください。

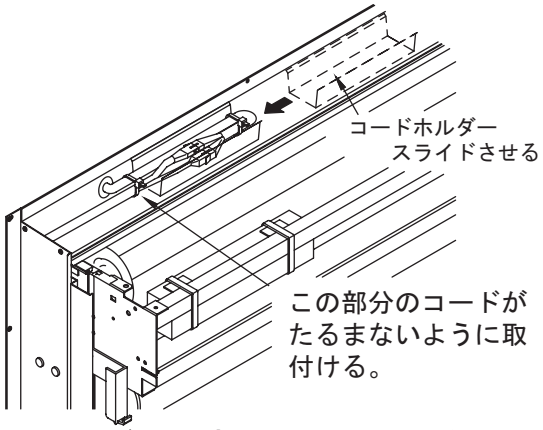
接続コードと本体側コードをまとめて付属の結束バンドにて右図の２箇所を結束します。結束後、余分な結束バンドの先端部は切断してください。

お願い 結束コードが躯体に入り込まぬようにしっかりと結束してください。



手順７：コネクタ部分のコードホルダーへの格納

手順３で取付けておいたコードホルダーをスライドさせてコネクタ部分を納めます。



以上で本体の取付けが完了です。
本体取付完了の後に、シャッターボックスカバー、操作スイッチを取付けて仮設電源にて作動確認（上・下限の初期設定）を行ってください。

※ボックスカバーの取付け方法はボックスカバー取付説明書（説明書番号MN-1423）を参照してください。
※作動確認（上・下限の初期設定）の方法は、アルミ電動・スチール電動電気工事説明書（説明書番号MN-1686）を参照してください。